

2014年（平成26年）10月10日（金曜日）

釈迦内サンフラワープロジェクト

ヒマワリへの思い作品に

川柳と写真

各賞発表に歓声上がる

大館市釈迦内小（三浦栄一校長）で7日、ヒマワリ写真・川柳コンテストの表彰式が行われた。今回初めて募集した川柳では、5年の佐藤美桜樹さんの作品「ひまわりが山より大きく見えてい

る」が子どもの部の最優秀賞に選ばれたほか、写真は応募作品全てに賞がつけられ、ヒマワリ栽培に汗を流してきた児童たちの頑張りをたたえた。

コンテストは、釈迦内サンフラワープロジェクト実行委員会（日景賢悟委員長）主催。児童たちはプロジェクトの一員として、栽培や収穫、油の販売などを行っており、

ヒマワリの思い出を残そうとコンテストを実施。同小では毎月、テーマを決めて川柳作りをしていることから、今回新たに川柳も加えて、表現の幅を広げた。

児童や保護者らから、写真に川柳を添えた作品232点の応募があり、写真は大館鳳鳴高と大館高の写真部員13人が審査を担当。さまざまな表情をしたヒマワリの写真一枚一枚に、「ヒマワリも笑顔も満開で賞」「仲がよさそうなおヒマワリで賞」などオリジナルの賞がつけられた。

川柳は、県川柳懇話会顧問などを務める佐々木

文字さん（同市柄沢）が入賞者を発表。受賞者が写真と一緒にスライドに

表表彰式後には、地元企業の協賛による、空くじ

映し出されると、会場から歓声が上がった。大人の部の最優秀賞には、5年の平恵都さんの母、多佳子さんの作品「ぐんぐんとのびて黄色の海となれ」が選ばれ、大人と子ども合わせて10句を優秀賞とした。

なしのお楽しみ抽選会を開催。これまで活動を頑張ってきた「褒美」に笑顔が広がっていた。

写真と川柳は、1年を通して校内に展示される。



ヒマワリと笑顔があふれる作品を眺める児童たち（大館市釈迦内小で）